

動物の仲間 1

1 セキツイ動物について、次の問いに答えなさい。

(1) 背骨を中心とする骨格をもつ動物を何動物というか。

{ }

(2) 次のような特徴をもつセキツイ動物を、下の { } から選びなさい。

① からだがうろこやこうらでおおわれ、肺で呼吸する。

{ }

② からだがうろこでおおわれ、えらで呼吸する。

{ }

③ からだが羽毛でおおわれ、肺で呼吸する。

{ }

④ からだが毛でおおわれ、肺で呼吸する。

{ }

⑤ からだの表面がしめった皮膚で、子るときえらで呼吸し、親になると肺と皮膚で呼吸する。

{ }

{ ホニユウ類 ハチュウ類 魚類 両生類 鳥類 }

(3) なかまのふやし方について、次の問いに答えなさい。

① 子どもを母親の体内で、ある程度育ててからうむなかまのふやし方を何というか。

{ }

② 卵をうんでなかまをふやすふやし方を何というか。

{ }

(4) 恒温動物と変温動物について、次の問いに答えなさい。

① まわりの温度が変化すると、体温が変化する動物を何動物というか。

{ }

② まわりの温度が変化しても、体温をほぼ一定に保つことができる動物を何動物というか。

{ }

(5) 草食動物と肉食動物について、次の問いに答えなさい。

① 植物を食べて生活している動物を何動物というか。

{ }

② ほかの動物を食べて生活している動物を何動物というか。

{ }

2

動物の仲間 2

1

セキツイ動物は、その特徴^{とくちょう}によって魚類、両生類、ハチュウ類、鳥類、ホニュウ類に分けられる。右の表は特徴の一部である。表をもとにして、次の動物はそれぞれ何類か答えなさい。

	なかまのふやし方	からだの表面のようす
魚類	殻のない卵を水中にうむ。	うろこ
両生類	殻のない卵を水中にうむ。	しめった ^{ひび} うすい皮膚
ハチュウ類	殻のある卵を陸上にうむ。	うろこやこうら
鳥類	殻のある卵を陸上にうむ。	うも ^{うも} う羽毛
ホニュウ類	子をうむ。	毛

①サル

子に乳をあたえる。



{ }

②カエル

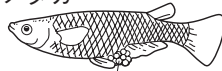
うすい皮膚で、しめっている。



殻のない卵

{ }

③メダカ



殻のない卵

{ }

④スズメ



{ }

⑤トカゲ



うろこ

{ }

2

下の図は、いろいろな動物をいくつかの特徴をもとにして、A～Eの5つのグループに分けたものである。次の問いに答えなさい。

A
ヒバリ
ペンギン

B
ゴリラ
ヤギ

C
フナ
マグロ

D
カメ
ワニ

E
カエル
イモリ

(1) A～Eのうち、1つのグループだけ、ほかとなかまのふやし方がちがうものがある。それはどれか、記号で答えなさい。また、そのふやし方は卵生^{らんせい}、胎生^{たいせい}のどちらか。
記号 { } ふやし方 { }

(2) まわりの温度が変化しても、体温を一定に保つことができる動物のグループをA～Eからすべて選び、記号で答えなさい。
{ }

(3) Eのグループの動物は何類とよばれるか。
{ }

(4) B、Dのグループに入る動物を、次の { } の中から1つずつ選んで書きなさい。

B { } D { }

{ ヘビ ハト クジラ アジ サンショウウオ }

3

背骨をもたない動物のなかまについて、次の問いに答えなさい。

(1) 背骨をもたない動物のなかまを何というか。〔 〕

(2) 次のうち、(1)の動物に分類されるものはどれか。すべて選びなさい。

〔 〕
 { イカ イヌ クモ スズメ エビ トカゲ フナ マイマイ }

4

右の図のような動物を^{せっそく}節足動物という。次の問いに答えなさい。

(1) 節足動物に背骨はあるか。〔 〕

(2) 節足動物には、あしに共通した特徴がある。その特徴とはどんなことか。簡単に書きなさい。

〔 〕

(3) 節足動物は活発に運動することができる。それは、あしなどの殻の内側に何がついているからか。

〔 〕

(4) 節足動物は、卵、子のどちらをうんでなかまをふやすか。

〔 〕

(5) カエル、トンボ、カメのうち、節足動物はどれか。

〔 〕

節足動物の特徴

●体表はかたい殻（外骨格）

●節のあるあし ●卵生

クモ



カブトムシ



カニ



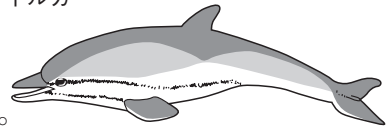
ムカデ



動物の仲間 3

1

右の図の動物について、次の問いに答えなさい。イルカ



(1) イルカは、海の中を泳ぎまわるホニユウ類である。

イルカは、^{らんせい}卵生か、^{たいせい}胎生か。

〔 〕

コウモリ

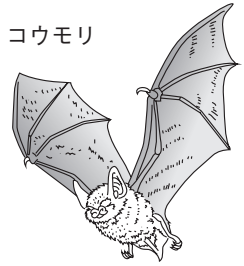
(2) イルカはどのようにして子を育てるか。次のア～ウから選び、

○をつけなさい。

ア〔 〕はじめは母乳をあたえ、^{ほご}保護しながら育てる。

イ〔 〕はじめは親と同じえさをあたえ、保護しながら育てる。

ウ〔 〕はじめから子は自分で食物をとり、親は保護しない。



(3) コウモリは、からだの表面が毛でおおわれている。コウモリは何類の動物か。

〔 〕

(4) コウモリは、卵をうむか、子をうむか。

〔 〕

(5) イルカとコウモリに共通することを、次の{ }の中から選んで書きなさい。

{ えらで呼吸する。 肺で呼吸する。 あしがある。 あしがない。 }

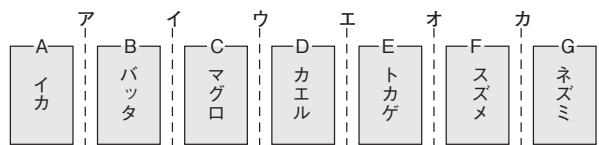
〔 〕

2

右の図は、7種類の動物を7

つのなかまに分けたものであ

る。次の問いに答えなさい。

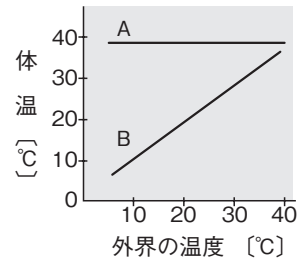
(1) これらの動物を^{こうおん}恒温動物と^{へんおん}変温動物の2つのグループに分けるとすると、その境界線は、ア～カのどこになるか。〔 〕

(2) 次の動物は、それぞれA～Gのどのなかまに入るか。

① ヤモリ〔 〕 ② アサリ〔 〕 ③ クジラ〔 〕

3

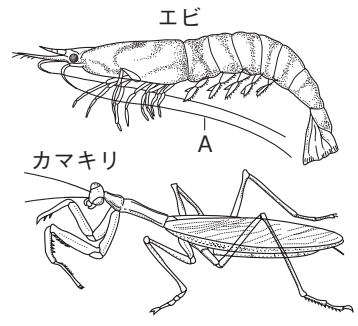
右のグラフは、外界の温度と動物の体温との関係を表している。次の問いに答えなさい。



- (1) Aの型の動物をまとめて何というか。 []
- (2) からだの表面が毛や羽毛うもうでおおわれている動物の体温は、
A, Bどちらの型か。 []
- (3) ハト, シカ, ワニのうち, 体温がBの型の動物はどれか。 []

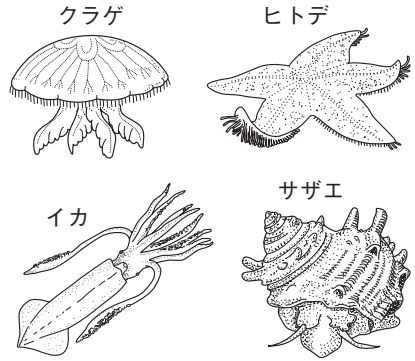
4

右の図は、エビとカマキリのからだのつくりを表したものである。次の問いに答えなさい。



- (1) エビのAを何というか。 []
- (2) エビとカマキリに共通していることは何か。次の
ア~エから2つ選びなさい。 []
ア あしは3対ある。 イ からだがからかたい殻からでおおわれている。
ウ あしに節がある。 エ からだが頭胸部と腹部の2つに区分される。
- (3) (2)のイの下線部①を何というか。 []

3 右の図の無セキツイ動物について、次の問いに答えなさい。



(1) 右の図の動物は、陸上、湖、海のどこで生活しているか。 []

(2) クラゲやヒトデには背骨はあるか。 []

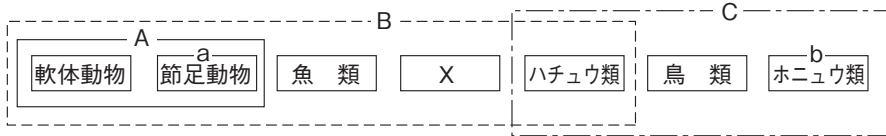
(3) イカやサザエはマイマイと同じなかまである。

これらの無セキツイ動物のなかまを何というか。 []

(4) イカやサザエと同じなかまを次の { } から2つ選んで書きなさい。

{ シジミ ウニ カニ タコ フナ バッタ } []

4 次の図は、動物を分類したものである。次の問いに答えなさい。



(1) Xにあてはまる動物は何類か。 []

(2) a, bにあてはまる動物を、それぞれ次の { } の中から選んで書きなさい。

{ アサリ ツバメ キツネ }
{ チョウ カツオ カエル }

a []
b []

(3) A~Cは何を基準に分けてあるか。次の { } の中から選んで書きなさい。

{ 一生えらで呼吸する。 背骨がある。 } A []
{ 一生肺で呼吸する。 背骨がない。 } B []
{ 変温動物である。 恒温動物である。 } C []

追加ドリル 1 動物の仲間 1

追-1・2

- 1 (1) セキツイ動物
 (2) ① ハチュウ類
 ② 魚類
 ③ 鳥類
 ④ ホニュウ類
 ⑤ 両生類
 (3) ① 胎生
 ② 卵生
 (4) ① 変温動物
 ② 恒温動物
 (5) ① 草食動物
 ② 肉食動物

- 2 (1) 無セキツイ動物
 (2) 節足動物
 (3) 外骨格
 (4) 軟体動物
 (5) 外とう膜

- 3 ① 胎生
 ② ハチュウ類
 ③ 軟体動物
 ④ 恒温動物

- 【考え方】① なかまのふやし方。
 ② 一生肺で呼吸をし、殻のある卵をうみ、卵をあたためない動物。
 ③ 外とう膜をもつ、無セキツイ動物。
 ④ 外界の温度が変わっても、体温が変わらない動物。

追加ドリル 2 動物の仲間 2

追-3・4

- 1 ① ホニュウ類
 ② 両生類
 ③ 魚類
 ④ 鳥類
 ⑤ ハチュウ類

【考え方】それぞれの動物のなかまのふやし方や体表のようすを図から読みとり、表と一致するものを答える。

- 2 (1) 記号—B
 ふやし方—胎生
 (2) A, B
 (3) 両生類
 (4) B—クジラ
 D—ヘビ

【考え方】Aは鳥類、Bはホニュウ類、Cは魚類、Dはハチュウ類、Eは両生類。
 (4) クジラは海で生活するが、ホニュウ類であることに注意しよう。

- 3 (1) 無セキツイ動物
 (2) イカ、クモ、エビ、マイマイ

【考え方】イカ、マイマイは軟体動物、クモ、エビは節足動物である。

- 4 (1) ない。
 (2) 節がある。
 (3) 筋肉
 (4) 卵
 (5) トンボ

【考え方】(4) 子をうんでなかまをふやすのは、セキツイ動物のホニュウ類だけである。

- 1 (1) 胎生
 (2) アに○
 (3) ホニュウ類
 (4) 子をうむ。
 (5) 肺で呼吸する。

考え方 (1) イルカは海の中で生活し、からだの形が魚に似ているが、ホニュウ類で、胎生であることに注意しよう。
 (2) ホニュウ類は、うまれた子どもに、はじめ乳をあたえて育て、自分でえさをとれるようになるまでは、保護しながら育てる。クジラやアザラシも同じ。
 (3) からだの表面が毛でおおわれているセキツイ動物は、ホニュウ類。
 (5) イルカもコウモリもホニュウ類だから、一生肺で呼吸する。

- 2 (1) オ
 (2) ① E
 ② A
 ③ G

考え方 Aは軟体動物、Bは節足動物、Cは魚類、Dは両生類、Eはハチュウ類、Fは鳥類、Gはホニュウ類である。
 (1) 恒温動物は鳥類とホニュウ類。
 (2) クジラはホニュウ類であることに注意。

- 3 (1) 恒温動物
 (2) A
 (3) ワニ

考え方 (2) 毛や羽毛は、からだの熱がにげるのを防ぎ、体温を保つのに役立つ。
 (3) ワニはハチュウ類だから変温動物。鳥類とホニュウ類が恒温動物。

- 4 (1) 触角
 (2) イ, ウ
 (3) 外骨格

- 1 (1) 背骨
 (2) セキツイ動物
 (3) 無セキツイ動物
 (4) ヘビーA
 ミミズーB

考え方 (2) ウサギはホニュウ類、イモリは両生類、カツオは魚類、カメはハチュウ類、ハトは鳥類で、いずれもセキツイ動物である。
 (3) マイマイ、カニには背骨がない。

- 2 (1) ① 肉食動物
 ② 草食動物
 (2) 草食動物
 (3) ウマ, ウサギ (順不同)

考え方 (1), (2) 草食動物の目は横向きにしているため、広い範囲を見わたすことができる。肉食動物の目は前向きにしているため、距離が正確につかめ、えものをつかまえやすい。

- 3 (1) 海
 (2) ない。
 (3) 軟体動物
 (4) シジミ, タコ (順不同)

考え方 (2) クラゲやヒトデは無セキツイ動物なので、背骨はない。

- 4 (1) 両生類
 (2) a—チョウ
 b—キツネ
 (3) A—背骨がない。
 B—変温動物である。
 C—一生肺で呼吸する。

考え方 (2) アサリは軟体動物、ツバメは鳥類、カツオは魚類、カエルは両生類である。
 (3) 軟体動物と節足動物は背骨をもたない無セキツイ動物である。